

コース名	科目名			対象学年
公衆衛生社会医学	予防医学			4
開講学期	科目責任者	副責任者		
1 学期	勝山 博信	高尾 俊弘	全体資料 無	

授業到達目標

1. 公衆衛生および予防医学の意義を説明できる。
2. 疫学概念、手法、指標の意義等について説明できる。
3. 人口統計、疾病・障害統計について説明できる。
4. 主な生活習慣病の現状、リスク要因、予防対策について説明できる。
5. 患者の人権と医の倫理について説明できる。
6. 医療の質と安全の確保、医師法と関係法規について説明できる。
7. 診療録に関する法律や記載法について説明できる。
8. 診療情報と諸証明書について説明できる。
9. 保健・医療・福祉の資源について説明できる。
10. 終末期医療と死の概念を説明できる。
11. 地域医療を説明できる。
12. 障害者福祉、国際保健について説明できる。
13. 母子保健の概要（意義、対象、現状、対策等）、母体保護、人類遺伝学等の概要を説明できる。
14. 精神障害者の現状、保護・医療・福祉について説明できる。
15. 高齢者の現状、老人保健福祉と介護保険制度について説明できる。
16. 薬事について説明できる。
17. 社会保障制度と医療経済について説明できる。
18. 学校保健の概要（意義、対象、現状、対策、行政等）を説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 4	木	5	講義	高尾	健康管理	公衆衛生と健康の概念	B-1-6)
2	4/ 4	木	6	講義	高尾	健康管理	成人保健と健康増進	B-1-5)
3	4/17	水	6	講義	勝山	公衆衛生	疫学概念、疫学指標、疫学研究デザイン	B-1-3), B-1-4)
4	4/19	金	3	講義	勝山	公衆衛生	疫学スクリーニング、統計解析の基礎	B-1-1), B-1-2) B-1-3)
5	4/19	金	4	講義	藤本壮	健康管理	終末期医療と死の概念	B-2-1), E-9-1)
6	4/26	金	5	講義	秋山祐	医療資料	社会保障制度	B-1-8)-1
7	4/26	金	6	講義	秋山祐	医療資料	医療保障制度	B-1-8)-2
8	5/ 9	木	3	講義	下田	糖内	カルテの書き方	B-2-2)-1, B-2-2)-2
9	5/ 9	木	4	講義	依田	公衆衛生	感染症法、検疫法、予防接種法	B-1-8)-11, B-1-8)-12
10	5/13	月	3	講義	勝山	公衆衛生	精神保健福祉	B-1-8)-13
11	5/13	月	4	講義	依田	公衆衛生	主要感染症の動向、院内感染対策	B-1-8)-11
12	5/16	木	4	講義	藤本壮	健康管理	死因統計、疾病統計	B-1-4)-3, B-1-4)-4 B-1-4)-5
13	5/22	水	1	講義	依田	公衆衛生	障害者福祉、国際保健	B-1-8)-13, B-1-9)
14	5/22	水	2	講義	秋山祐	医療資料	医薬品医療機器等法	B-1-8), B-3-1)
15	5/24	金	1	講義	鎌田	健康管理	医の倫理と患者の人権	A-1-1), A-1-2) A-4-2)
16	5/24	金	2	講義	鎌田	健康管理	医師法、歯科医師法、保助看法、 刑法、民法	B-1-8)
17	5/29	水	1	講義	勝山	公衆衛生	医療法、医療計画	B-1-7), B-1-8)
18	5/31	金	3	講義	高尾	健康管理	学校保健	B-1-6), B-1-7)

19	5/31	金	4	講義	藤本壮	健康管理	介護保険	B-1-8)-2
20	6/ 5	水	3	講義	山中	健康管理	診療情報と各種証明	B-2-2)
21	6/13	木	5	講義	鎌田	健康管理	医療の質と安全の確保	A-6-1), A-6-2) A-6-3), B-1-8)
22	6/13	木	6	講義	鎌田	健康管理	老人福祉法、高齢者医療確保法、在宅医療	B-1-8)-3
23	6/21	金	5	講義	高尾	健康管理	地域保健	B-1-7)
24	6/21	金	6	講義	高尾	健康管理	社会環境の変動、人口静態統計、人口動態統計	B-1-4)-1, B-1-4)-2 B-1-4)-4
25	6/26	水	1	講義	山中	健康管理	母子保健の現状、母子保健法	B-1-6)-4
26	6/26	水	2	講義	山中	健康管理	母体保護法、児童福祉	B-1-6)-4
27	7/ 3	水	4	講義	勝山	公衆衛生	医療従事者の現状、救急医療、災害医療、へき地医療	B-1-7)-5, B-1-7)-6 B-1-8)-10
<b>評価方法</b>								
[期末試験]95% (本試験、補充試験は e-Testing の予定である。補充試験の対象者は本試験と出席状況を加味した総合評価で、60 点未満の学生とする。)								
[出席状況 (受講態度)]5%								
[評価方法]多肢選択試験、出席・受講態度評価								
<b>課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて</b>								
試験問題及び正解の掲示と質問の受付を行う。								
<b>教科書</b>								
ISBN-9784896326871, 公衆衛生がみえる 2018-2019, 医療情報科学研究所編集, Medic Media, 2018								
<b>参考書</b>								
ISBN-4910038540880, 厚生指針 増刊 国民衛生の動向 2018/2019, 厚生労働統計協会 (編集), 厚生労働統計協会, 2018/08/31								
ISBN-9784524251162, NEW 予防医学・公衆衛生学, 小泉昭夫 [ほか] 編集, 南江堂, 2018								
ISBN-9784260007733, 標準公衆衛生・社会医学, 岡崎勲, 豊嶋英明, 小林廉毅編集; 岡崎勲 [ほか] 執筆, 医学書院, 2009								
ISBN-4895924475, 医学統計データを読む: 医学・医療に必要な統計学活用法, ベス・ドーソン, ロバート・G.トラップ著; 岡原正治 [ほか] 訳, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006								
ISBN-9784903803265, 臨床研究の道標 (みちしるべ): 7つのステップで学ぶ研究デザイン, 福原俊一著, 健康医療評価研究機構, 2017								
<b>準備学習 (予習・復習等)</b>								
予習: 30 分程度。シラバスを参考に授業に対応する教科書の内容を読んでおくこと。								
復習: 30 分程度。膨大な範囲であるため、単なる暗記で終わらせないよう、授業ごとに復習し理解を深めておくこと。								
<b>講義についての注意事項</b>								
・途中退席は認めない。やむを得ず退席する場合は講義担当者に理由を述べ、確認を受けてから退席すること。その後、帰室しない場合は欠席とする。								
・e-Testing (デモ含む) にはネットワーク利用承認書に記載の ID・PW が必要となるため、各自確認しておくこと。								
<b>昨年度からの変更点・改善項目</b>								
講義担当範囲を変更した。特に感染症が環境医学から予防医学へ移行した。								
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について</b>								
本科履修により、医療記録、EBM 実践、医学・医療分野の情報収集法を習得する。本科後の臨床医学、特に地域医療のための基礎を培う。								
<b>ナンバリング</b>								
SLPR420								